

北京

モデルコース

日	都市名	旅程概要	食事/宿泊		
			朝	昼	夕
1	関西 北京	大阪より空路、北京へ 着後、北京市内観光へ (天安門広場、天壇公園 など) 夕食は『北京ダック』にて	×	×	○
			宿泊地 北京		
			○	○	○
2	北京	ホテルにて朝食後、 終日：北京郊外観光及び市内観光へ (万里の長城、明の十三陵、鳥の巣・車窓 など)	○	○	○
			宿泊地 北京		
			○	×	×
3	北京 関西	ホテルにて朝食後、 ホテルより空港へ 北京より空路、大阪へ 着後、解散	○	×	×
			宿泊地 北京		
			○	×	×

関西空港⇄北京(首都空港) 就航航空会社

- ・全日空(NH)
毎日運航・1日1便
- ・中国国際航空(CA)
毎日運航・1日2便
- ・中国東方航空(MU)
毎日運航・1日1便
※MUは青島または煙台経由

2010年12月現在

みどころ

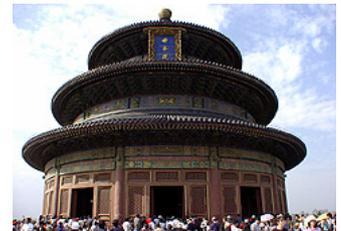
・天安門

世界遺産・故宮(紫禁城)の正門であった門であり、楼上で毛沢東が中華人民共和国の建国宣言を行い、中華人民共和国の国章にもその姿が描かれるなど、中華人民共和国の象徴のひとつとされている。天安門広場とは「長安街」通りを隔てて隣接している。



・天壇公園

天壇公園は283万平方メートルの広く静かな公園。明代の永楽帝が15世紀半ばに建設し、以来、明、清代の皇帝たちが五穀豊穡を祈った場所である。「天円地方」思想から、北側は半円、南側は方形になっている。祈年殿は傘を広げたような3層の青い屋根をもつ円形の建物。高さ38メートル、直径30メートルで、釘は全く使われていない。天壇のなかで最も美しい建物です。(写真は祈年殿)



・万里の長城(八達嶺)

万里の長城のうちもっとも早く観光地として一般公開された場所。現在の遺構は明代に建設されたもので、この地区の長城は首都防衛を目的とし、また王朝の威厳を示す目的もあり特に堅牢な建築物となっている。観光用のロープウェイが両側の山の上まで設置されており、これを利用して山上口から入場する観光客も多い。ガイドブックなどでは便宜的に北側の長城を「女坂」、南側を「男坂」と称している。勾配の急な北側に観光客が集中する傾向にあり、最高地点の「北八楼」は海拔1015メートルとなっている。



・鳥の巣

スイスの建築家ユニット、ヘルツォーク&ド・ムーロンの設計で、その独特の形状から、愛称は「鳥の巣(正式名は北京国家体育場)」と呼ばれている。大きさは330m×220mで高さは69.2m。北京オリンピックのメインスタジアム。

